

報道ご関係者 各位

2019年6月14日

IWF 実行委員会

体験型講座が133種類、受講料は500円。
日本最大のワークショップ見本市が今年も開幕（7/27～）

「ワークショップフェスティバル DOORS」開催のお知らせ



IWF 実行委員会（関西・大阪 21 世紀協会、アートサポート共同事業体）は、7月27日～30日、および、8月3日～4日の合計6日間にわたり、文化体験プログラム「ワークショップフェスティバルDOORS <読み：ドアーズ>」を開催します。

「文化は人が作る」をコンセプトに、公募した講師が様々なジャンルのワークショップ（体感型講座）を行う「ワークショップフェスティバルDOORS」は、アート、音楽、伝統芸能に食やキッズプログラムまで幅広い文化体験を網羅したラインナップが大きな魅力の一つです。

1講座が90分、どの講座も500円で受講できる気軽さが好評を博し、これまで13年の開催で約1700講座を開講し、2万2千人以上という大変多くの方々にご参加いただきました。

上記日程のほか、8月24日（土）・25日（日）には兵庫県西宮市でも開催。（主催：西宮ドアーズ実行委員会、西宮市）今回は、大阪市と西宮市を合わせて、全133講座となります。

広く市民に向けた体験型講座実施することで、受講する皆様に文化の良さに直接触れ、親しんでいただくと同時に、公募講師にも、新たな繋がりや活動の拡大の機会を提供することを目的としています。

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、上記趣旨をご理解いただき、「ワークショップフェスティバル DOORS」開催について広く告知にご協力いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

開催概要

会期：【大阪】2019年7月27日（土）～30日（火）、8月3日（土）、4日（日）

【西宮】2019年8月24日（土）、25日（日）

対象：キッズプログラム：4歳～（西宮ドアーズは2歳～）、一般講座：小学生～

受講料：1講座500円 ※別途、材料費等が必要な講座あり

会場：旭区民センター・大阪市立芸術創造館、大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）、大阪市立男女共同参画センター南部館 クレオ大阪南、西宮市民会館

今年の気になる
ワークショップ!

「老いと演劇のワークショップ」7/27（土）15時半～

講師：菅原直樹 / 「老いと演劇」
OiBokkeShi 主宰

【内容】演劇体験を通じて、楽しみながら認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップ。

実際に身体を使って演じることで、認知症ケアの気づきやヒントを講師と参加者間で共有していきます。

【プロフィール】俳優、介護福祉士。

青年団に俳優として所属。前田司郎、松井周、多田淳之介、柴幸男、神里雄大の作品などに出演する。2010年より特別養護老人ホームの介護職員となり、12年に岡山県に移住。14年より、認知症ケアに演劇手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。



「障害のある人との触れ合いのダンス」7/27（土）11時～

講師：藏元徹平 + たんぽぽの家アートセンターHANAのメンバー

【内容】手のひらや身体の一部を使いながら、参加者同士ができる動きを組み合わせることで、相互理解を深められる場を作ります。

【プロフィール】鹿児島市出身。踊る、生活介護職員。

近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻卒業。卒業制作で聴覚障害のあるダンサー達と作品をつくり国際障害者交流センタービッグ・アイにて上演。アートセンターHANAのダンスプログラムでは、HANAメンバーと学校や公共施設に出向き、ダンスを通じて相互理解を深められる場を作っている。



【この件に関するお問合せ】 IWF 実行委員会 事務局 担当：細貝・重田

電話：06-6955-1066 メール：hosokai@artcomplex.net 公式ホームページ：<https://www.iwf.jp/>